



2022年3月期第3四半期 決算説明会

2022年1月31日

NEC ネットエスアイ株式会社

(銘柄略称：NESIC 証券コード：1973)

取締役執行役員常務

関澤 裕之

2022年3月期 3Q累計 業績サマリー

(単位：億円)

	21年3月期 3Q累計	22年3月期 3Q累計	前年同期 差/比
受注高	2,535	2,435	△4%
売上高	2,335	2,188	△6%
売上総利益率	17.8%	19.2%	+1.4pt
営業利益 (営業利益率)	138 (5.9%)	122 (5.6%)	△16 △0.3pt
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (四半期純利益率)	84 (3.6%)	77 (3.5%)	△7 △0.1pt
フリー・キャッシュ・フロー	131	92	△39
(参考) 受注残	1,608	1,629	※ +1%

※受注残：前期大型案件の影響除き +15%

注力事業は成長も、前年大型反動等に加え、半導体/部材不足等の一過性要因が影響

● 受注高/売上高

半導体/部材不足の影響ある中、注力事業(DX/通信)は成長

前期大型案件等※、半導体/部材不足の影響除き

受注高：+11%、売上高：+8%

※GIGAスクール/メガソーラー/孫会社非連結化影響

● 営業利益/四半期純利益：

一過性要因で減益も、売上MIX改善、効率化は進展

(一過性要因)

- ・ ミャンマー損失計上※(△18) ※政情不安によるPJ停滞
- ・ 半導体/部材不足の影響(△17)

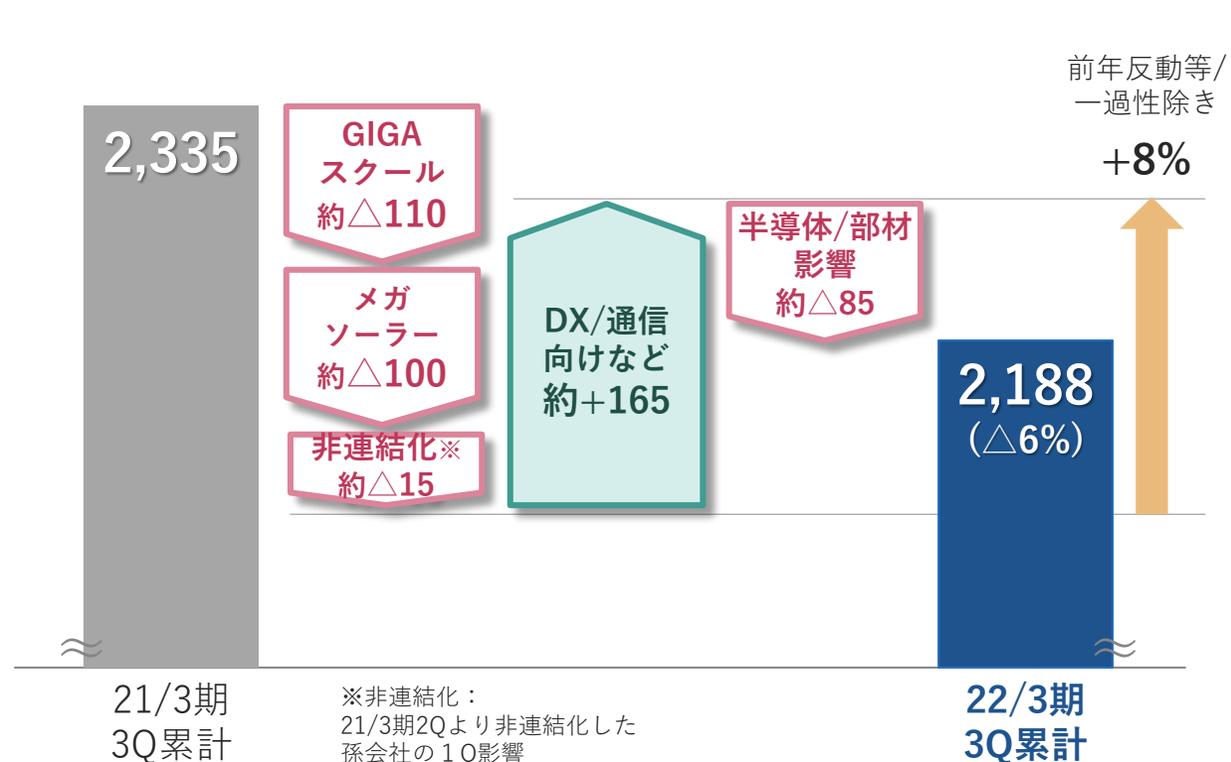
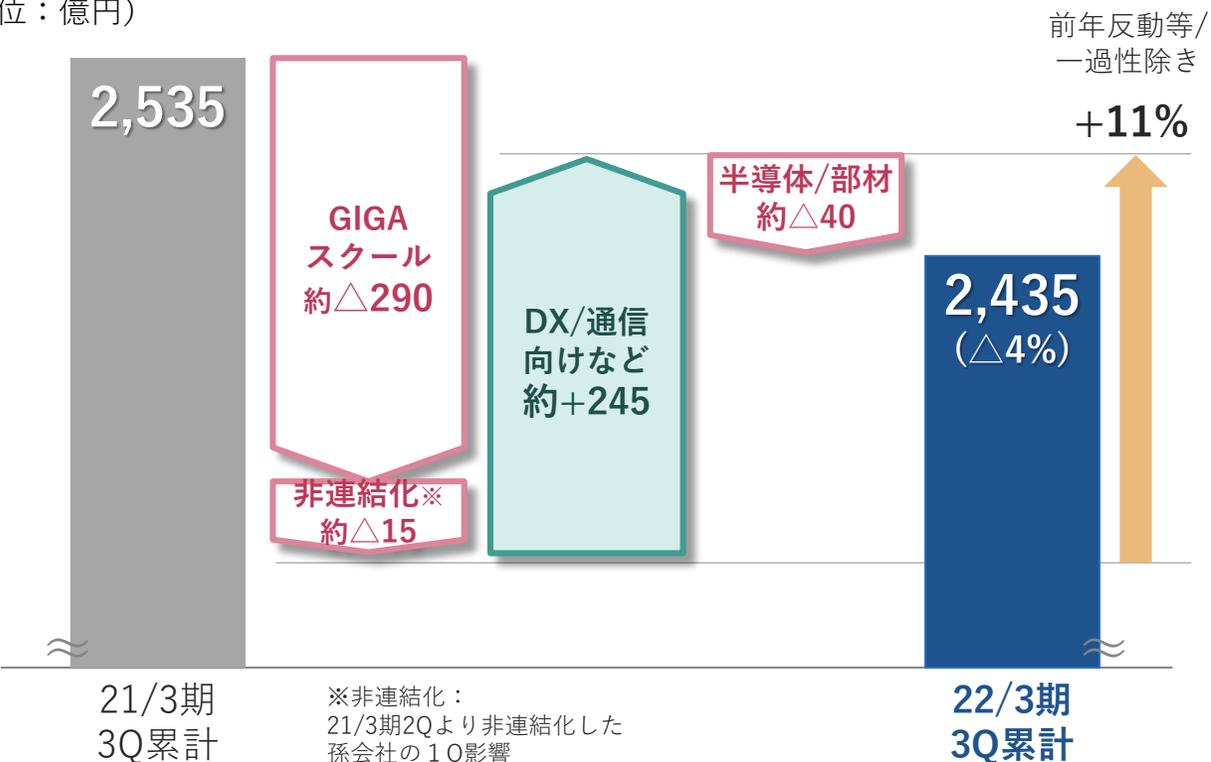
2022年3月期 3Q累計 受注高・売上高 増減要因

戦略は想定通り進捗も、大型案件の反動に加え、半導体/部材不足が一時的に影響

受注高

売上高

(単位：億円)



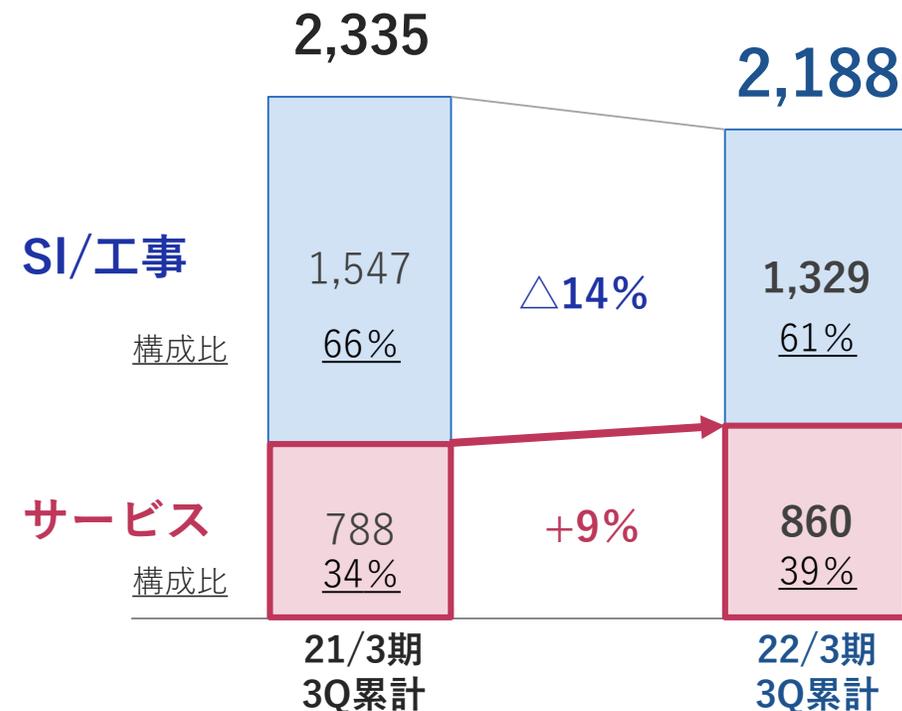
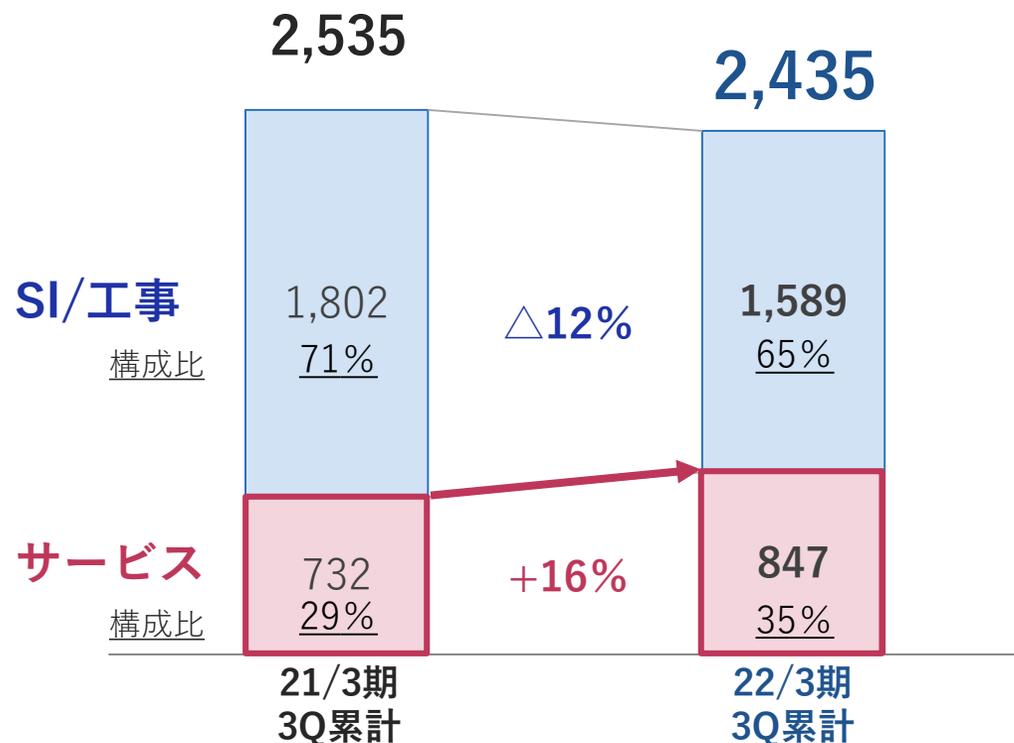
2022年3月期 3Q累計 事業内容別受注高/売上高

ビジネスモデルの転換が着実に進捗

受注高

売上高

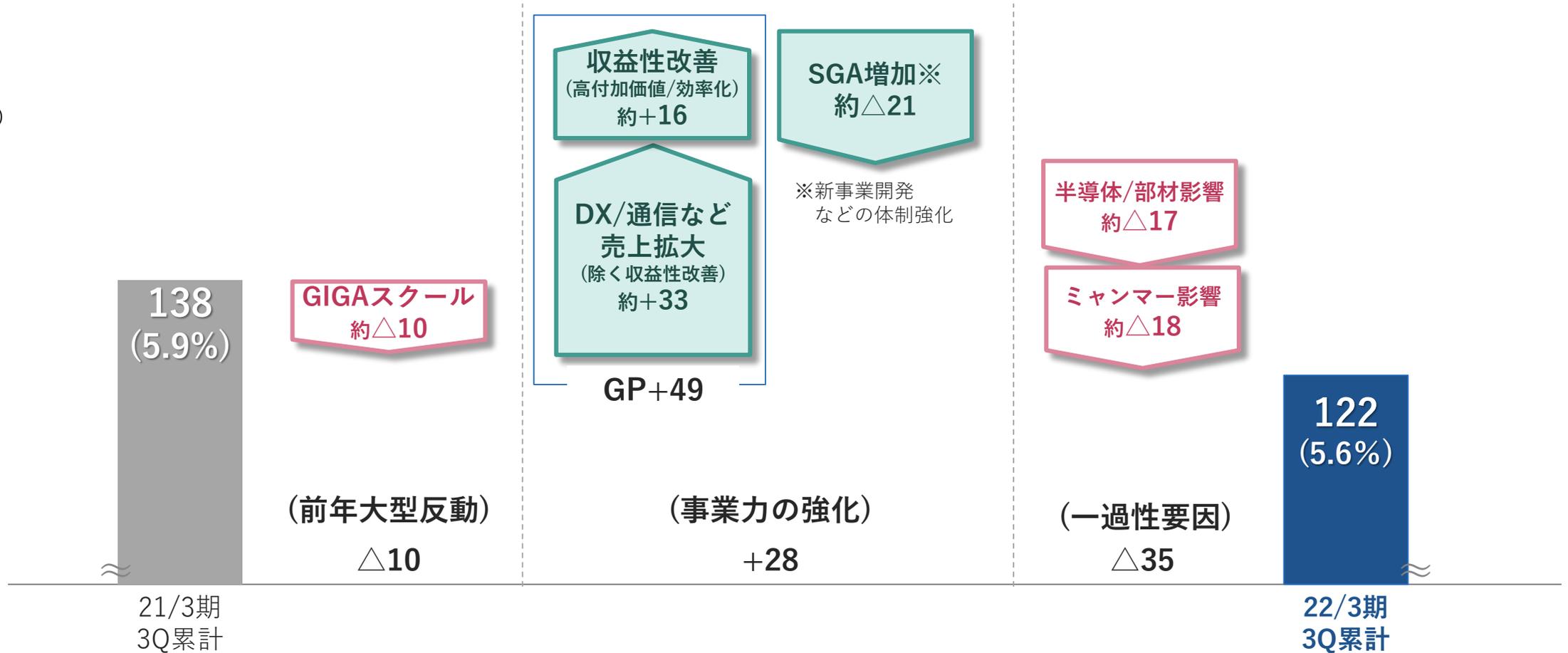
(単位：億円)



2022年3月期 3Q累計 営業利益 増減要因

一過性要因あるも、事業力の強化は進展

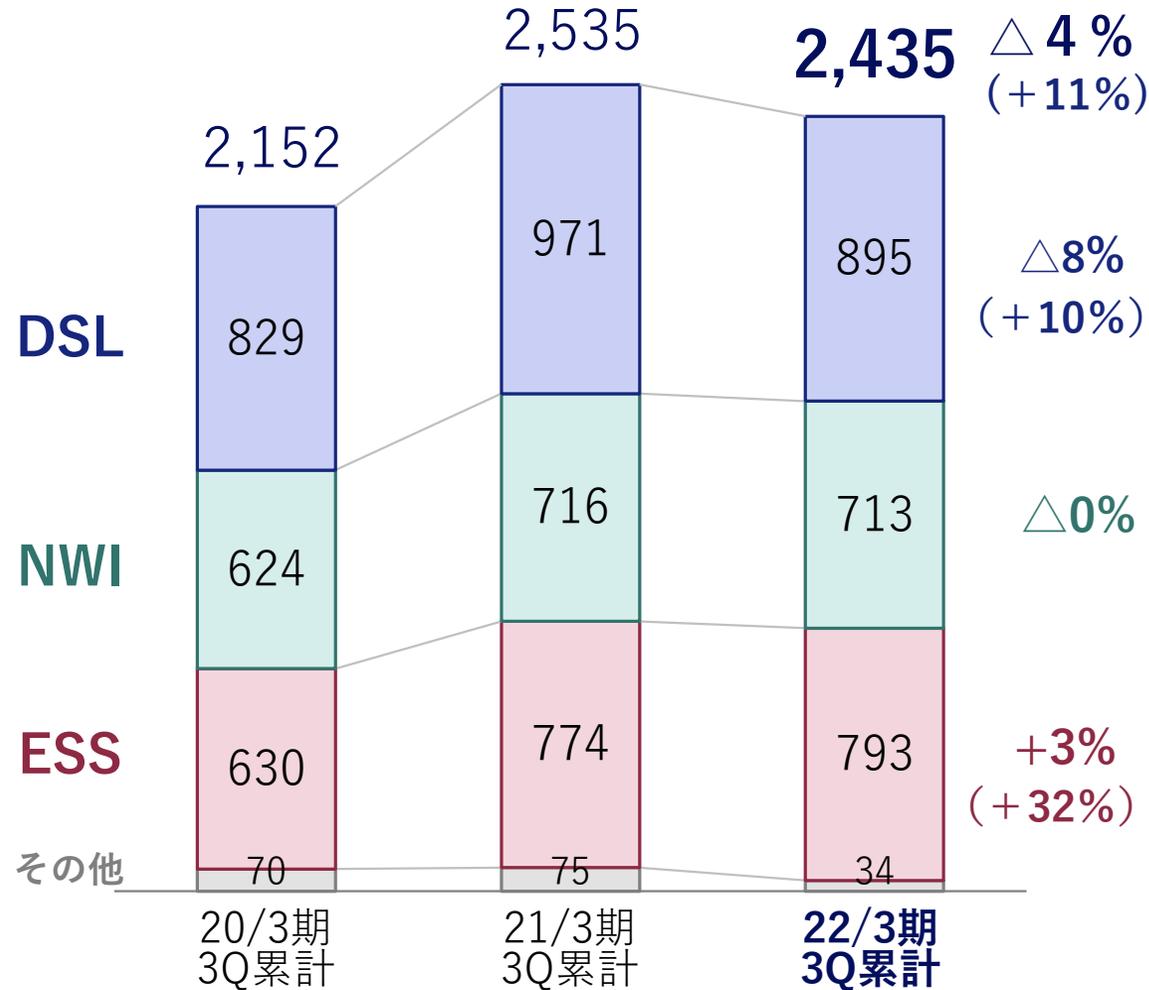
(単位：億円)



2022年3月期3Q累計 セグメント別受注高

(単位：億円)

()内は、前年反動等、
半導体/部材影響除く伸率



デジタルソリューション(DSL)

- GIGAスクール、孫会社非連結化影響で減少
(約△145)
- DX/働き方改革は好調
(約△15)
- ・官庁自治体向け拡大継続

ネットワークインフラ(NWI)

- 通信事業者向けが拡大、
前年大型案件の影響をカバーし前期並み
(海洋地震計システム：約△30)

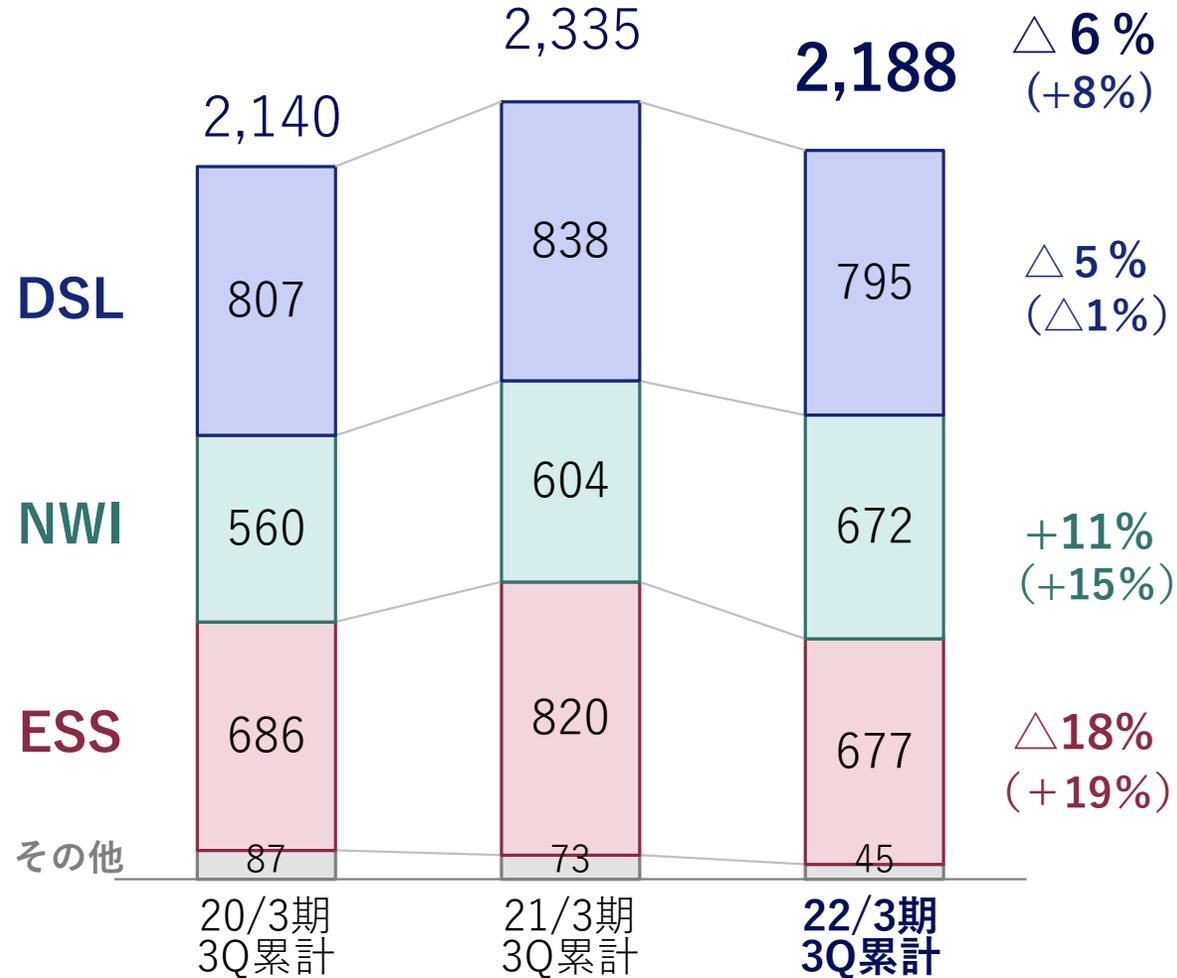
エンジニアリング & サポートサービス(ESS)

- 国内/海外施工案件の拡大で
GIGAスクール反動(△約145)をカバー
- ・国内：運輸・交通分野
- ・海外：サウジアラビア…プラント工事追加受注

2022年3月期3Q累計 セグメント別売上高

(単位：億円)

()内は、前年反動等、
半導体/部材影響除く伸率



デジタルソリューション(DSL)

(約△15)

(約△15)

- GIGAスクール、孫会社非連結化が影響
- サービス化に伴いリードタイムが長期化

ネットワークインフラ(NWI)

- 半導体/部材不足の影響あるも、通信事業者向けが牽引し拡大

エンジニアリング & サポートサービス(ESS)

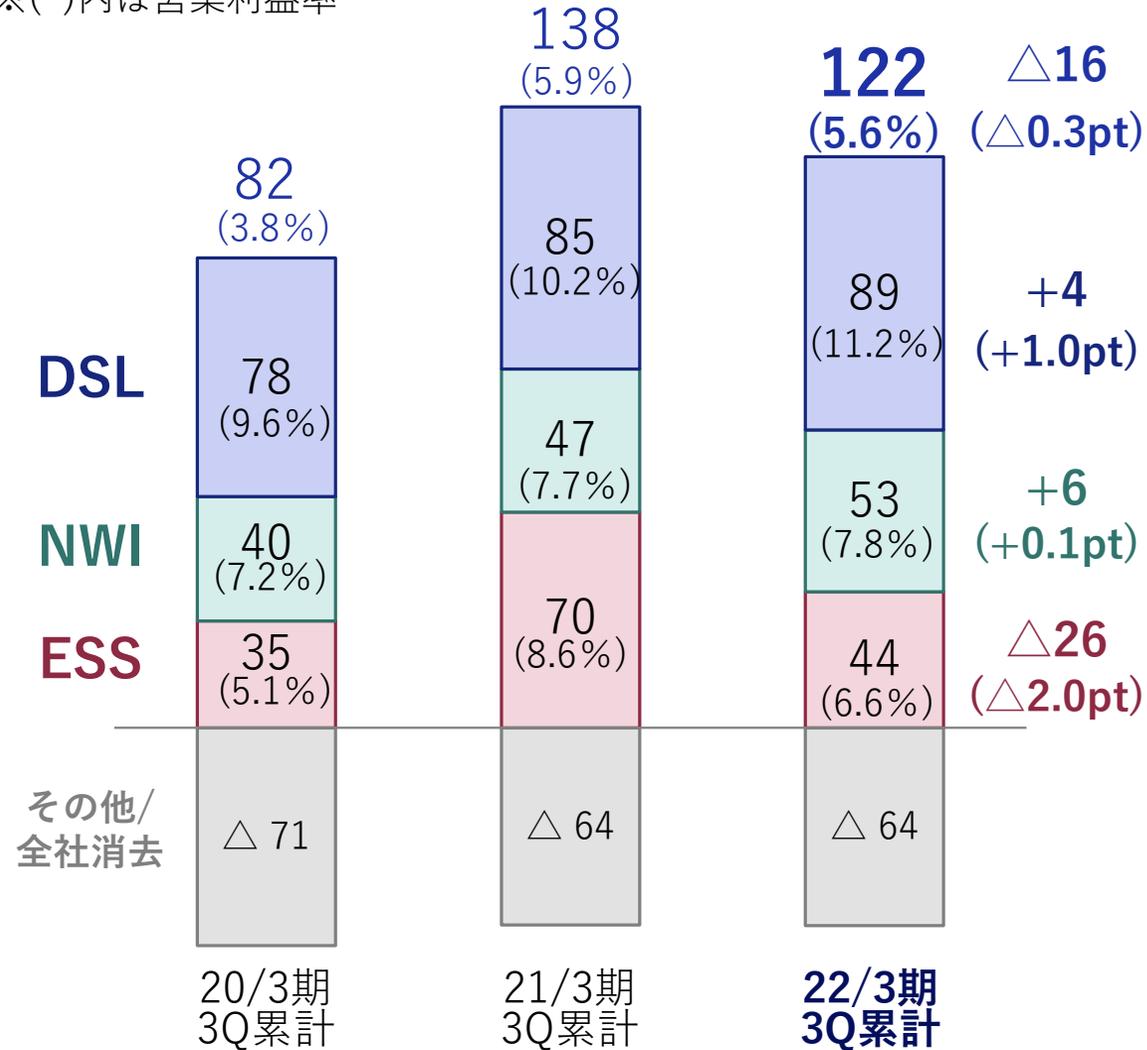
(GIGAスクール約△100、メガソーラー約△110)

- 前年に大型PJがあった反動減に加え、半導体/部材不足の影響により減収
- 国内施工は堅調に増加

2022年3月期3Q累計 セグメント別営業利益

(単位：億円)

※()内は営業利益率



デジタルソリューション(DSL)

- 事業モデルの転換が進展し、収益性が改善 (サービス+SI 提供モデル)

ネットワークインフラ(NWI)

- 半導体/部材不足の影響あるも、増収効果や売上MIXの改善により増益

エンジニアリング & サポートサービス(ESS)

- 主にミャンマー損失計上に加え、半導体/部材不足が影響

一過性要因について

ミャンマー影響

損益：約△18億円

ミャンマー国の政情不安を受け、通信インフラ設置プロジェクトの遂行における費用が大幅に増加することが見込まれるため、損失計上を行うもの

半導体/部材不足 の影響

3Q累計 …売上高：約△ 85億円 損益：約△17億円
年間見込み …売上高：約△145億円 損益：約△30億円

対応の考え方

- ・ 調達可能な代替品の提案/手配、プロジェクト遂行プロセスの見直しに加え、製品SIモデルからサービス提供モデルの提案を加速

2022年3月期通期 業績予想

(単位：億円)

	21年3月期 実績	22年3月期 予想	前期差/比	前回予想 (10月29日)	前回差
受注高	3,369	3,350	△1% ※(+11%)	3,300	+50
売上高	3,391	3,130	△8% ※(+10%)	3,200	△70
営業利益	256	225	△31	260	△35
(営業利益率)	(7.5%)	(7.2%)	△0.3pt	(8.1%)	△0.9pt
親会社株主に帰属する 当期純利益	157	145	△12	160	△15
(当期純利益率)	(4.6%)	(4.6%)	0.0pt	(5.0%)	△0.4pt

※受注高、売上高の前期比：

()内は、前期反動等(GIGAスクール/メガソーラー/孫会社非連結化)、

今期半導体/部材不足の影響除く伸び率

● 受注高

堅調な事業環境や3Qまでの
進捗を踏まえ上方修正

● 売上高/利益

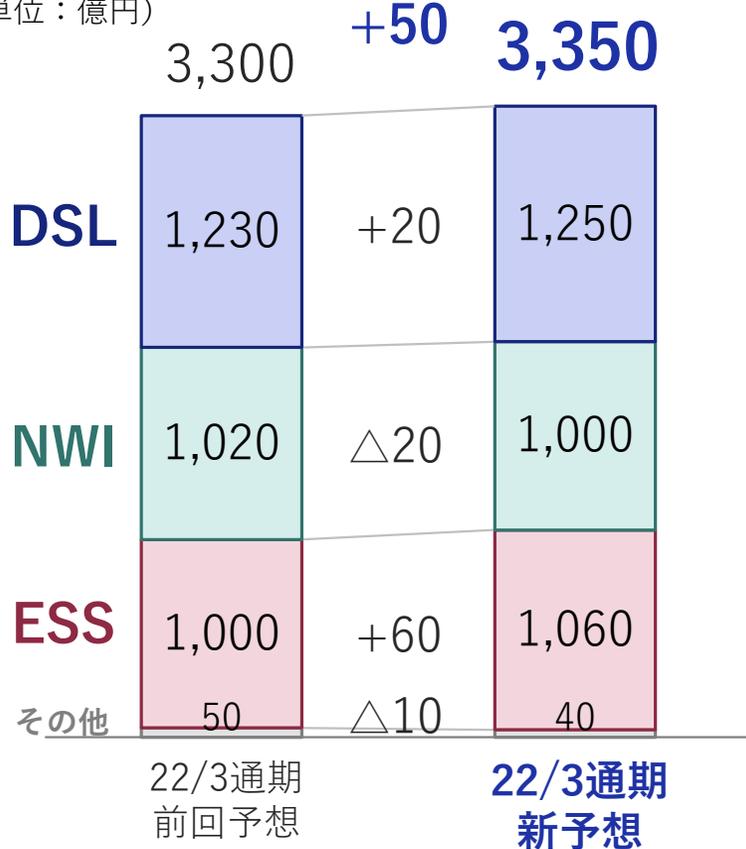
半導体/部材不足の影響拡大に加え、
ミャンマー損失計上を反映

2022年3月期通期 セグメント別業績予想

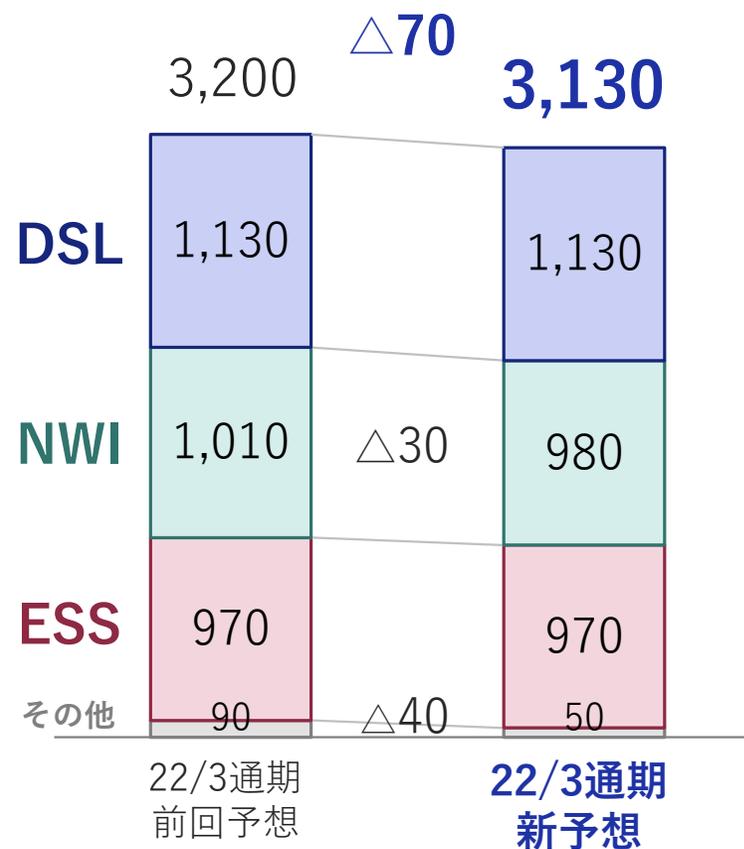
3Q進捗や部材不足影響などに鑑み、セグメント別予想を修正

受注高

(単位：億円)

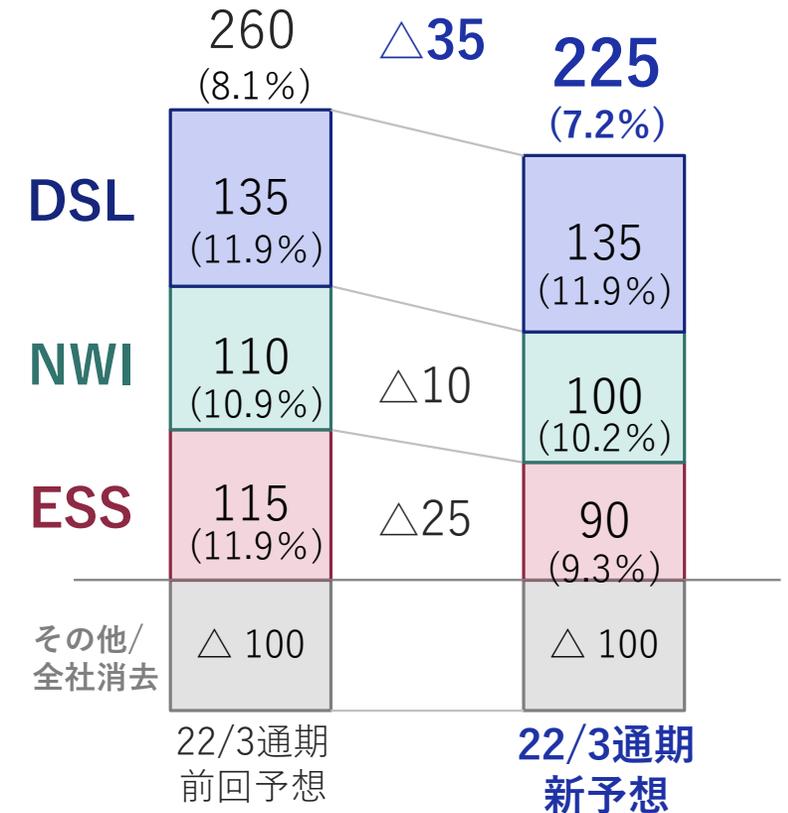


売上高



営業利益

※()内は営業利益率



トピックス（TCFD提言への賛同表明）



今後、2022年6月を目標に
TCFDフレームワークに基づく情報開示を拡充

サステナビリティ活動の推進体制を整備し、
「コミュニケーションで創る包括的で持続可
能な社会」の実現に向けた取り組みを加速

APPENDIX

(参考)2022年3月期 3Q累計(21年12月末) バランスシート

(単位：億円)		21年3月末	21年12月末	増 減
	現金及び現金同等物	684	723	39
	受取手形、売掛金及び契約資産	1,246	1,011	△235
	たな卸資産	115	124	9
	その他流動資産	73	104	31
流動資産合計		2,118	1,962	△156
固定資産合計		385	407	22
資産合計		2,503	2,369	△134
	支払手形及び買掛金	468	351	△117
	借入金	101	113	12
	その他負債	663	611	△52
負債合計		1,232	1,075	△157
	株主資本合計	1,261	1,279	18
	その他の包括利益累計額	△24	△15	9
	非支配株主持分	34	31	△4
純資産合計		1,271	1,294	23
負債純資産合計		2,503	2,369	△134
自己資本比率		49.4%	53.3%	+ 3.9pt

(参考)2022年3月期 3Q累計 キャッシュフロー

(単位：億円)

	21/3期 3Q累計	22/3期 3Q累計
営業活動によるキャッシュ・フロー (A)	166	131
投資活動によるキャッシュ・フロー (B)	△ 35	△ 39
フリー・キャッシュ・フロー (A + B)	131	92
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 29	△ 53

(参考)セグメント別 売上総利益率

	3Q累計		
	21年3月期 3Q累計	22年3月期 3Q累計	前年同期 差/比
デジタルソリューション事業	19.5%	22.3%	+2.8pt
ネットワークインフラ事業	20.0%	20.0%	0.0pt
エンジニアリング&サポートサービス事業	15.9%	16.3%	+0.4pt
全社	17.8%	19.2%	+1.4pt

(参考)セグメント別 事業内容別(SI工事/サービス)売上高

(単位：億円)

		デジタル ソリューション	ネットワーク インフラ	エンジニアリング &サポートサービス	その他	全社 計
SI/工事		362	476	446	45	1,329
	前年実績	427	442	605	73	1,547
	前年差	△ 66	34	△ 159	△ 28	△ 218
サービス		433	196	230	-	860
	前年実績	411	162	215	-	788
	前年差	23	34	15	-	72

(参考)マーケット別 受注高・売上高

受注高

(単位：億円)

	22/3	3Q累計	21/3	3Q累計	比較増減	
		構成比		構成比		伸び率
官公庁	474	19%	738	29%	※1 △264	△36%
通信業	554	23%	466	18%	88	19%
NECグループ関連	224	9%	231	9%	△7	△3%
企業	1,084	45%	1,049	41%	35	3%
海外	100	4%	51	2%	48	94%
合計	2,435	100%	2,535	100%	△100	△4%

※1:GIGAスクール(約△290)

売上高

(単位：億円)

	22/3	3Q累計	21/3	3Q累計	比較増減	
		構成比		構成比		伸び率
官公庁	403	18%	486	21%	※1 △83	△17%
通信業	494	23%	430	18%	64	15%
NECグループ関連	209	10%	222	9%	△13	△6%
企業	1,014	46%	1,127	48%	※2 △113	△10%
海外	68	3%	69	3%	△1	△2%
合計	2,188	100%	2,335	100%	△146	△6%

※1:GIGAスクール(約△110)

※2:メガソーラー(約△100)

(参考)セグメント別 受注残高

	20年12月末 (21/3期3Q末)	21年12月末 (22/3期3Q末)	前年同期比	前年大型案件除く (GIGA/メガソーラー)
デジタルソリューション事業	528	521	△1%	+31%
ネットワークインフラ事業	454	440	△3%	
エンジニアリング&サポートサービス事業	586	644	+10%	+22%
その他	40	25	△37%	
全社計	1,608	1,629	+1%	+15%



明日のコミュニケーションをデザインする

NEC ネットズエスアイは、お客様の目線に立った
これからのコミュニケーションをデザインする会社
としてお客様の価値向上に取り組んでまいります。

本資料についてのご注意

本資料に記載されている将来の業績等に関する見通しは、将来の予測であり、確定的な事実に基づかないために、リスクや不確定要因を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

実際の業績は、様々な要因の変化により記載の見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おき願います。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因は、当社グループの事業を取り巻く経済情勢、社会的動向、当社グループの提供するシステムやサービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、市場対応能力などであります。

なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定するものではありません。

2020年4月にセグメント間の事業移管等がありました。2020年3月期の実績は、これを受け、セグメント情報の比較のために組替えた数値で示しています。

また、一部の数値については、監査法人の監査を受けておりません。

\Orchestrating a brighter world

NEC

NEC ネットズエスアイ